



組合からの事前の指摘も無視した **“現場軽視”**
そして、招かれたワンマン運転・効率化のための日光線『減便』『減車』による混雑問題
さらに、顕在化しても改めない会社の **“顧客軽視”**

5月9日
早朝

大宮地本
日光線 鹿沼駅前で地域・利用者の方々へチラシを配布!

150件を超える 地域・利用者の声

※ホームページ投稿やSNS、ビラ配布時の声掛け含む

娘と息子が通学で利用しているが混んでいるからといって1本早めることや遅らせることなどできない!

「分散乗車」といっても仕事や学校の始業時間間に合う他の列車が無い!

JR東日本(会社)のいう「乗り切れないほどじゃない」は顧客をバカにするにも程がある!

以前は4両編成だったためにホーム上で待つ際も分散していたが、今は3両分に減り、黄色い線の外側へはみ出る!

利用者の意見を全く無視した“利益重視の(ダイヤ)改正、としか思えない!

日光線だけでなく宇都宮線のダイヤも設定がおかしい! 遅延時に宇都宮駅での接続もされない!

下校時間帯に列車が無くなり、子どもたちが帰れない。学校の教育活動にも大きな支障をきたしている。

輸送サービス労組の取り組みに共感し期待と応援の思いを込めた声が続々と寄せられ続けています!

“安全に、安心して、快適に利用できる鉄道輸送サービス”を提供することが、私たちのプライドだ!

これらを達成して“働きがい”に繋がることは言うまでもない!

職場の取り組みから社会連帯を創り出し、「質の高い輸送サービス」と「労働条件の向上」の実現を目指そう!

“現場軽視” + “顧客軽視”の
経営姿勢で問われる
JR東日本の社会的存在意義